



スポーツで町を明るく！町民を笑顔に！ ファイターズスポーツキャラバンin八雲町

7月8日～10日の3日間、北海道日本ハムファイターズのコーチとファイターズガールが八雲町にやってきました。今年度のファイターズスポーツキャラバンは道内5市町での開催を予定し、八雲町からスタートしました。

初日の8日は保育園・幼稚園・小学校を訪問し、ボールの投げ方などを教わり、マスコットキャラクターであるB・Bが登場すると拍手と歓声が上がっていました。

9・10日は未就学児と小学校低学年児童を対象としたスポーツ体験教室から始まり、野球だけではなくバッスケ・サッカーのコーチを招いた教室も行いました。そのほかファイターズガールが先生となったダンス教室や指導者講習、野球少年団・中学校野球部を対象とした野球教室など盛りだくさんの内容となりました。

参加した子ども達は汗を流しながら元気いっぱいに体を動かし、B・Bやファイターズガールとの交流を楽しんでいました。



学校給食における 地産地消・食育の実施

7月5日、地元食材への理解を広げ地産地消を進めようと、基幹産業の酪農と漁業の食材の中から、牛乳と北海道二海サーモン(ニジマス)を活用した「北海道二海サーモンクリーム煮」を給食センターが考案し、町内の小中学校に提供しました。

熊石小学校では、JA新はこだて酪農生産部会八雲支部都筑支部長から、町長へ北海道八雲牛乳を贈呈され、児童に牛乳ができるまでについて説明しました。また、今年海中養殖し水揚げされた本物のトラウトサーモンを用いた説明もありました。

地元牛乳とトラウトサーモンを合わせた「北海道二海サーモンクリーム煮」を食べた児童は「牛乳とサーモンの相性が良く、想像していた以上においしい」と話していました。



あわびの里くまいし物産販売会 が開催されました

7月2日、熊石漁港ふれあい広場でアワビのほか、今が旬のキタムラサキウニの塩水パックやこの春に水揚げした北海道二海サーモンなどの特産品販売会を開催しました。

事前予約は約600件あり、引き換え日には町民のほか、函館や札幌圏などから1,000人以上が訪れ、予約分のほかに追加で用意した商品も全て完売となり、盛況となりました。

刀禰清貴実行委員長は、「来年こそ、あわびの里フェスティバルを開催し、多くの方に熊石の特産品をその場で味わってほしい」と話していました。

